

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和 4年 2月 1日

事業所名:放課後等デイサービスQ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			室以内の仕切りを外してできるだけ広く、安全に過ごせるように環境づくりをしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対して職員4~5名を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			事業所の階段には手摺と滑り止めを設置し安全に配慮している。段差等の声かけは継続して行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援、全体活動等の後、朝会や会議等で時間を設けて反省を行い改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページに記載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者による外部評価は行っていない。重要事項説明書に記載する予定。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修の機会を設けて福祉についての勉強会やAED・虐待防止等の研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しながら、全員で立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や施設外活動を取り入れ、子ども達の興味を引き出せるような活動を考え、固定化しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は個別支援・公園遊び・室内レクを実施。休業日や長期休暇は、制作活動・生活訓練・運動など色々な体験ができるように設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			レクリエーション等を通して、チームでの対戦や個人戦のゲームなどを行い、ルール理解をはかりつつ、集団での行動を行うような活動を行っている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝会を行い、送迎・活動内容を確認し打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個別支援後は、その日のうちに取り組んだ様子と気づいたことを共有メールで送り、個別支援内容を共通理解するようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の業務日誌、保護者との連絡帳のやり取りを行い、支援の検討、改善につなげている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に2回以上定期的にモニタリングを行い、計画内容の進捗状況を確認して、必要に応じて支援の内容を変更している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			虐待防止研修、非常災害対策などを実施している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		該当児童なし。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		該当児童なし。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		今年度は行っていない。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		新型コロナウイルス感染防止のため設けていないが、公園活動時、地域の子ども達と遊ぶ機会がある。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		新型コロナウイルス感染防止のため設けていない。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			活動時の動画や写真をメールで送り報告している。送迎時を利用してコミュニケーションをはかり、気になったことなどを伝え共通理解できるようにしている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、重要事項説明書をもとに、支援の内容、利用者負担などについて説明を行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			新型コロナウイルス感染防止のため設けていない。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動予定を月に1回発行している。また、連絡帳にやメールを利用して必要な事項をお知らせしている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			PCIにセキュリティソフトをインストールして対応している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○		全てのマニュアルは作成しているが、保護者への周知がなされていないため、今後周知して頂けるように方法を検討して実施していく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				火災、地震を中心とした避難訓練を年に4回実施している。休業日の土曜日に行っているため、今後は平日利用の児童も参加できるように、長期休暇の平日を利用して実施を検討する。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○		保護者様にご理解を頂いた上で、身体拘束の同意書を頂いているが、支援計画書への記載がなされていないので、以後記載する。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		アレルギーについては、アセスメント時に情報を聞いている。現在、医師の指示書を得る児童はいない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			会議で共通理解し、支援時に対応している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)